

(2)調査の結果

回答数：50名 回答率：68.5%（文書回答42名、ネット回答8名※重複なし）

設問2（1）スポーツX(株)の撤退によって、当該地の今後の方向性として最も望ましいと思われるものをお選びください。

選択肢	回答数	回答率
① 農地として利用を継続したい	17件	23.3%
② 事業用地としてほしい	16件	21.9%
③ 特に意向はない	13件	17.8%
④ その他・無回答	4件	5.5%
⑤ 未回答	23件	31.5%

設問2（2）設問2(1)で①と回答された方がご回答ください。希望する具体的な農地利用の形態を教えてください。

選択肢	回答数	回答率
① 自己の農地として耕作を継続したい	6件	35.3%
② ほ場整備を実施してほしい	11件	64.7%
③ その他	0件	0.0%

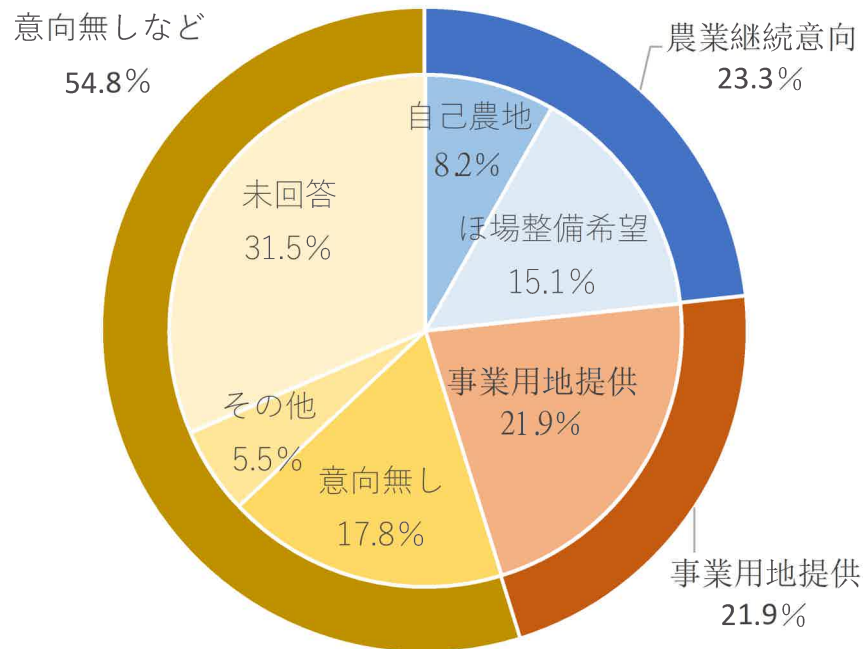
※設問2（1）で①と回答した者に対する割合

設問2（3）

設問2(1)で②と回答された方がご回答ください。希望する具体的な土地利用の形態を教えてください。

⇒ 12件の回答があり、スポーツX(株)の撤退を単なる中止と捉えるのではなく、町の活性化と復興を達成

するための新たなチャンスと捉えていることが強く示唆されます。



設問3

地域住民として、今後のまちづくりの在り方など、本構想に限らず、まちづくり全般について、ご意見やご要望、代替案として検討してほしいことなど、ご記入ください。

⇒ 26件の回答があり、町の未来に対し強い関心と危機感を持っている。SSP構想の失敗を単なる後退とせず、人口減少対策としての交流人口増加と町の活性化を達成するための代替案を、町長や議会が責任をもって迅速に提示・実行することを求めています。

2 住民意向の確認について

(令和7年12月24日現在)

(1)大郷町政策審議会時の質疑等 (令和7年11月4日開催)

SSP構想自体に関する直接的な質疑はなかったが、町の総合的な計画および地域振興に関する重要事項を扱う諮問機関として、構想計画地周辺の「かわまちづくり事業」の細部にわたる実現性に集中したことは、本構想のこれまでの経過を教訓とし、町が主導する今後の主要事業において、より高い実現性と計画の確実性を担保することへの強い期待の表れであると受け止めております。

(2)地区懇談会時の質疑等 (令和7年11月11～18日開催)

各地区において、事業中止に至った詳細な経緯や今後の明確な方針について、行政および議会による丁寧な説明を求める切実な声が寄せられました。

その一方で、参加者からは本計画地を「復興の象徴」として再定義し、商業・観光・交流の核となる活性化策を早期に提示してほしいという前向きなご要望をいただいております。併せて公共交通や生活安全対策などの基盤課題の解決を町が主導して同時に推進することへの強い期待が示されました。

3 状況の整理

(1)方針検討の状況整理

①スポーツX(株)の撤退

- ・地域経済牽引事業計画の取り下げ
スポーツX(株)は、宮城県に対し地域経済牽引事業計画の取り下げ申請を行う意向
- ・責任ある方針決定への強い要求
町民・地権者からは議会と執行部に対する厳しい批判と、責任ある方針決定への強い要求がなされている

②地権者意向調査の結果

- ・土地利用方針が設定できない
調査の結果、意向だけで土地利用方針を決定できる有意な差は認められない
- ・速やかなビジョン提示
地域活性化と賑わい創出に関する代替案が提案され、町にはリーダーシップによる速やかなビジョン提示が強く期待

③各種説明会での意見

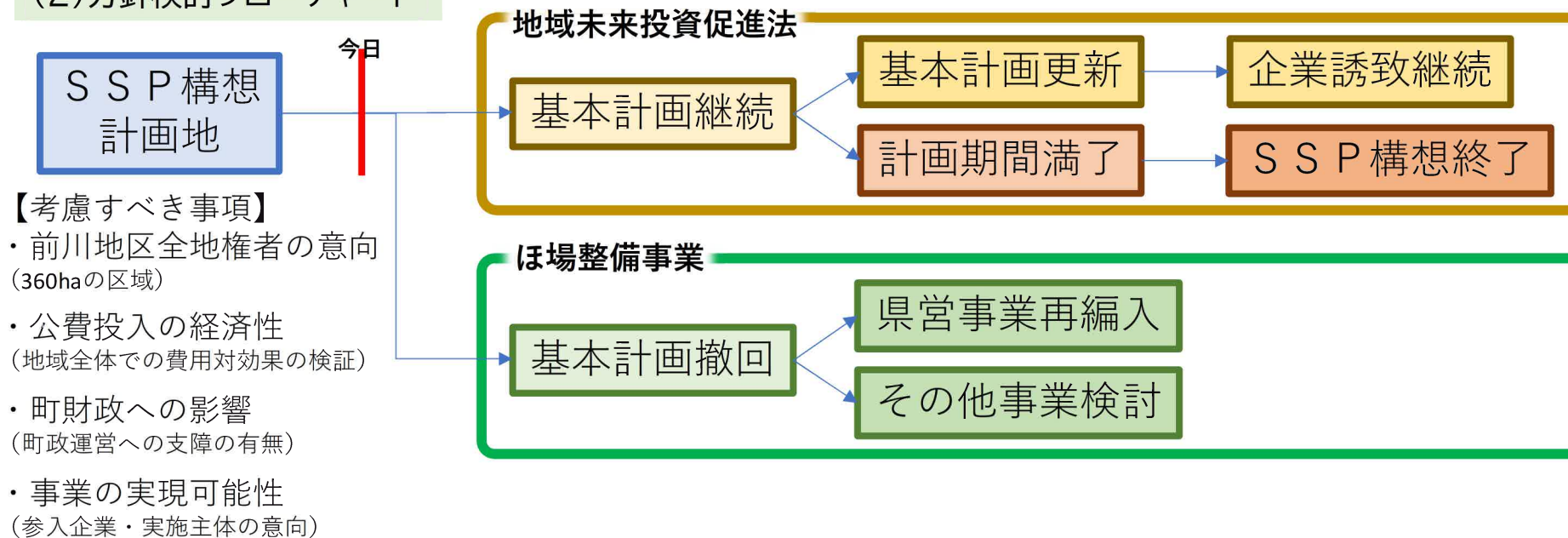
- ・明確なビジョンの提示
町が主導してビジョンや方針を決定すべきとの意見が出されている
- ・かわまちづくり事業への期待
河川敷の浸水リスクに対する安全性や指定管理者制度における財政的な持続可能性の確保を最優先

(1) SSP構想の今後の方針

●現段階で考えられる今後の方針（案）

- ・ SSP構想計画地を企業誘致場所として再評価・再検討する
- ・ 農地として県営やその他のほ場整備事業が実現可能か検討する

(2) 方針検討フローチャート



●地域振興施策の取り組み

SSP構想に期待された地域振興機能は、計画どおりに「かわまちづくり事業」を推進することで、達成される見込み。

(3)検討イメージ

